

平成21年10月6日

会 員 各 位

関西大学科学技術振興会
会 長 隅 谷 哲 三
関西大学先端科学技術推進機構
機構長 石 川 正 司

平成21年度 第6回〈合宿〉研究会のご案内

拝啓 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、本会の運営、事業の遂行に際しまして、何かとご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、当振興会の平成21年度（第6回）研究会〈合宿研究会〉を、下記のとおり開催いたしたく、ご多忙中と存じますがお繰り合わせのうえ、是非ご参加賜りますようご案内申し上げます。

ご出欠の有無を、同封の「FAX送付状」またはE-mail（アドレス：sentan@ml.kandai.jp）にて、11月10日（火）までにご連絡願います。ご出席の方には、改めて行程等の詳細をお知らせいたします。※メールアドレスが変更になりました。

敬 具

記

○日 時 平成21年 **11月28日（土）～29日（日）**

○訪 問 先 ※アイエス技術研究所・池永 勝様のお世話により、見学・訪問の機会を得ました。

①山陰酸素工業(株) 安来支店 安来市亀島町2 ☎ 0854(22)3331

②鳥取県金属熱処理協業組合 米子市夜見町 3001-3 ☎ 0859-24-0363

○集合日時 11月28日（土）7：50 〈時間厳守〉

○集合場所 大阪中央郵便局周辺

○参加費用 35,000円（バス代、昼食代、宿泊代、美術館等入館料、他）
その他の諸経費については、会から補助されます。

○宿泊場所 「いこい亭 菊萬」米子市皆生温泉 4-27-1 ☎ 0859-38-3300

○行 程 貸切バスにて、両日行動

◇11月28日（土）の予定

【研究会】14：00～17：00

①見学1 山陰酸素工業(株) 安来支店 安来市亀島町2 <http://www.sanin-sanso.co.jp/>

溶接、切断での酸素の使用から始まり、現在では各種ガスが開発され、家庭から先端産業まで幅広く使用されるようになりました。高圧ガスの用途は実に幅広く、鋼鉄、自動車、機械、金属加工、食品、製紙、電力、化学、製薬、廃棄物処理、医療、さらに半導体・エレクトロニクス関連情報技術、バイオテクノロジー等の先端産業などあらゆる産業に及んでおります。今後も、さまざまな分野に適切なガスを安全に提供し信頼に添えていくとともに、環境負荷の低減などに広く貢献していきます。

②見学2 鳥取県金属熱処理協業組合 米子市夜見町 3001-3 <http://www.torinetsu.jp/>

特殊鋼で培われた技術力；古代出雲の鉄文化が生きづく山陰。和鋼の歴史を受け継ぎ、特殊鋼を生産する安来。とりねつの歴史は、特殊鋼を熱処理することから始まりました。山陰には高い技術力を持つ数多くの機械加工業者があり、強度や精度を高めるために最新の熱処理技術が求められてきました。とりねつは顧客とのキャッチボールを繰り返しながら技術のレベルアップを図り、現在、原子力発電、航空機、ロケット、レーシングカーなどに関わる最先端部品の熱処理も行っています。

③講演 化学生命工学部准教授 西本 明生 氏

「ステンレス鋼のアクティブスクリーンプラズマ窒化処理」(仮題)

<移動>訪問先から宿舎(チェックイン)

【交流会】18:30~21:00 訪問先の方々もご同席戴き、交流をお願いしております。

◇11月29日(日)の予定

朝食後、足立美術館で鑑賞、和鋼博物館を見学、境港で昼食、新鮮な海産物の御土産買いの時間を取り、夕刻帰阪の予定です。

<足立美術館>安来市古川町

創設者足立全康が自ら収集した、横山大観をはじめとする近代日本画と、陶芸、彫刻、蒔絵、童画などの魅力的なコレクションの数々。そして日本の神々のふるさとと言われる出雲の国の恵まれた自然を借景に、四季折々の表情を醸し出す50,000坪の日本庭園。やすらぎという名の心洗われる時間を心ゆくまでお過ごしください。

このたび、フランスの旅行ガイド『ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン』において、足立美術館の「日本庭園」が山陰エリアで唯一となる最高評価の「三つ星」(わざわざ訪れる価値のある場所)と評価されました!

昨年にはミシュランと双璧をなすフランスの旅行ガイド『ギッド・ブルー・ジャポン(ブルーガイド)』でも「三つ星(必見)」を獲得しており、海外における当館の日本庭園への評価・関心が高まっています。

<和鋼博物館>安来市安来町

館名の「和鋼」は、近代以前わが国で行われてきた砂鉄を原料に木炭を燃料として「たたら製鉄法」で生産された鋼のことです。この製鉄法の起源は、現在では、6世紀頃までさかのぼることが確認されており、中国山地でも古くから行われました。そして良質の砂鉄と豊富な森林資源に恵まれたことや種々の技術改良が大きな要因となり、近世の後半には、わが国の鉄生産量の80%以上を占めたとされます。

昭和62(1987)年に、たたら製鉄に関する文化遺産を共有する安来市を含む6市町村は、現総務省の指定を受けて、「鉄の道文化圏」の形成に取組み、安来市では、和鋼記念館の重要有形民俗文化財250点を含む収蔵資料約15,000点の移管を受け、新たな構想のもと博物館の建設に着手し、日本の伝統的製鉄法「たたら」に関するわが国唯一の総合博物館として開館しました。

以上

山陰酸素工業株
ハイブリッド窒化装置

プラズマとガスを組合せ、単一な処理、複合処理ができます。また、今までのプラズマ窒化の課題であった炉内温度分布の安定化、製品の投入量増加を図り、精密な窒化層をつくります。



鳥取県金属熱処理協業組合
【世界水準の金属熱処理】
ISO国際規格の審査登録によりグローバル時代
に対応
オールラウンドの熱処理技術



足立美術館



和鋼博物館